## (4) 授業実践

題材 「曲のよさを考えよう」

教材 「威風堂々 第1番」(エルガー 作曲) (鑑賞)

# 題材の目標

楽譜で曲の特徴の根拠を見付けたり気付いたりする活動を通して、聴き取ったことと感じ取ったことを関連付けながら曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲のよさについて考えをもつ。

# 本題材で位置付ける〔共通事項〕

(ア) 音楽を特徴付けている要素…リズム、旋律、強弱、音の重なり

# ア 1時目

### 〇目標

曲想と音楽の構造との関わりを考えながら聴く。

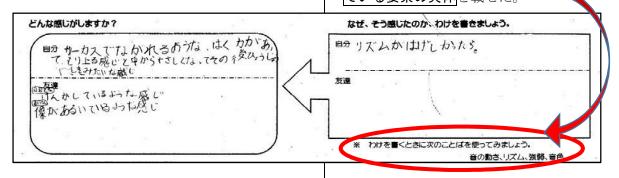
|    | ○授耒の展開 ※ <sub></sub> は、教師(T)、児童(C)のやり取りを示す。ゴシック体は、本研究で取り入れる手立てを示す。  |  |  |  |  |  |  |  |
|----|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 過程 | 学習活動  | 教師の働き掛け  |  |  |  |  |  |  |
| 導入 | 1 旋律A,旋律B,それぞれ一部のキーボード演奏を聴く。  T:どちらも同じ曲です。 C:Bは聴いたことがあるな。  2 主旋律を歌って,主旋律の特徴をおさえる。  T:どうして難しい。 T:どうして難しかった? C:リズムが取りづらいです。 T:タッタッタララララララテララテー(手拍子でリズム 打ちしながら)ちょっと音の長さが短い感じがするね。他には? C:音が取りづらいです。 T:タララララララテー(手を上下しながら)音の高さがジグザグしていて難しいね。 | ・旋律Aは激しい動きの部分、旋律Bはゆったりした部分とし、どちらも同じ曲であることを知らせることで、特徴を比較する学習につなぐようにした。 ・歌ったり体を動かしたりすることで、旋律やリズムの特徴に気付くことを促した。 ・歌うことに苦手意識をもたないように、旋律B、旋律Aという順序で歌うようにした。 ・歌いやすいように、旋律Bは「ラララ」と、ゆっくりしたテンポで歌うようにした。 ・歌うときは、音の高さに合わせて手を上下に動かさせたり、リズム打ちをさせたり、歌う人を変えたりして、遊び感覚で繰返し歌うようにした。 |  |  |  |  |  |  |
| 展開 | めあて:曲をきいて,いろいろな特ちょうを見つ<br>3 オーケストラによる演奏を聴く。   | ・どのような感じがするか考えながら聴くよ<br>うに声を掛けた。<br>・ワークシートには、曲想を書くことができ<br>るように、手掛かりになる <b>言葉のリスト</b> を<br>載せた。 (次頁)  |  |  |  |  |  |  |

| * } | ※ 次のことばを参考にしてもいいです。 |         |     |        |     |         |     |        |     |         |
|-----|---------------------|---------|-----|--------|-----|---------|-----|--------|-----|---------|
| 例   | 分類                  | 感じ      | 分類  | 感じ     | 分類  | 感じ      | 分類  | 感じ     | 分類  | 感じ      |
|     |                     | 楽しい     |     | はげしい   | 力強い | 力強い     |     | 落ち着いた  |     | 美しい     |
|     |                     | うれしい    | はげし | はく力がある |     | どうどうとした |     | なごむ    |     | おどりたくなる |
|     | 楽                   | うきうきした  |     | もり上がる  |     | 勇ましい    | 落ち着 | おだやかな  | その他 | 軽かいな    |
|     | 米しい                 | 明るい     |     | はなやかな  |     | そう大な    | 着い  | のんびりした |     | なめらかな   |
|     |                     | 元気な     | W   | パワフルな  |     | 重々しい    | た   | あたたかい  |     |         |
|     |                     | スカッとする  |     | 情熱的な   |     | はずむような  |     | のどかな   |     |         |
|     |                     | 生き生きとした |     | にぎやかな  |     | はつらつとした |     | どっしりした |     |         |

4 感じたことを発表する。

- ・ワークシートに書いたことを**4人組で交流** させ,友達の考えを共有したり,共感したり できるようにした。
- ・納得した友達の考えは, ワークシートに付け加えてよいことを伝えた。
- ・感じたことの共通点を考えさせた後,3つ (旋律A,旋律B,全体)のどれに当たるか 尋ねることで,曲のどの部分から感じたこ とか確かめられるようにした。
- 題名を伝えることで、感じ取ったことと題名のイメージにつながりがあることを確認できるようにした。
- ・ワークシートには、音楽を形づくっている 要素に着目できるように、**音楽を形づくっ ている要素の具体**を載せた。

5 なぜそのように感じたのか理由を考える。



! T: どこの部分について書きましたか?

C: Aの部分で、「迫力がある」についてです。

T:「迫力がある」と感じた理由を教えてください。

C:リズムが激しいからです。

T:もう少し詳しく教えてください。

C:リズムが強く,強弱が強いからです。

T:Aの部分を歌って確かめてみましょう。

.C:♪ (Aを歌う)

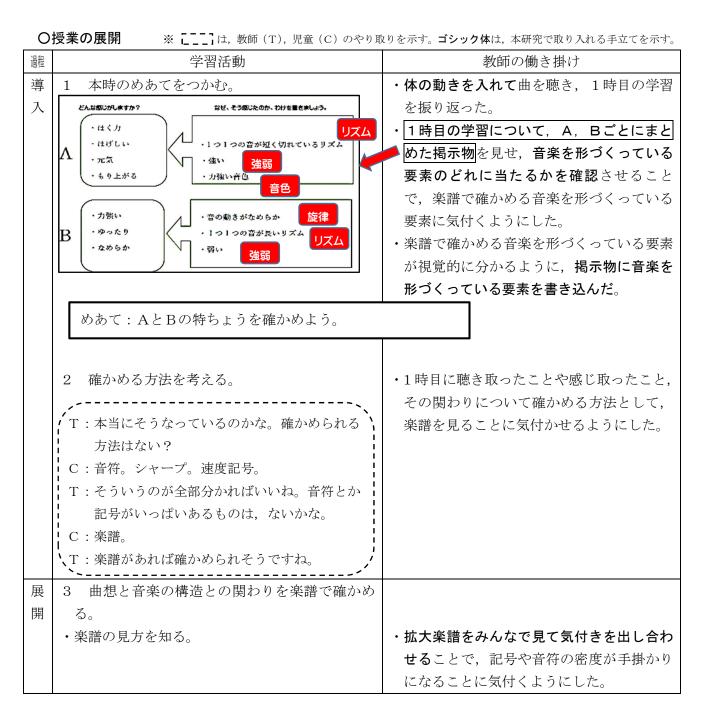
- ・曲のどの部分について説明しているのかが 分かるように、3つ(旋律A,旋律B,全体) のどれについての理由かを尋ねた。
- ・児童による理由の説明が伝わりにくいとき は、詳しく尋ねた。
- ・旋律を歌わせることで、曲の特徴を確かめられるようにした。
- ・視覚的につながりが分かるように、板書した感じたこととその理由を線でつないだ。

\* 音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素でといる要素でといる要素でといるでは、音楽を形づくっている要素でといるというでは、音楽を形づくっている要素でといるというでは、音楽を形づくっている要素では、は、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素の着目につながるように、音楽を形づくっている要素できないる。

#### イ 2時目

#### 〇目標

旋律A,旋律B,それぞれの曲想と音楽の構造との関わりについて考え、理解する。



T:(拡大楽譜を見せて) どんな楽譜だろうね。

! C:上がAで,下がBです。

C:全然違う。音符が多い。音符が全然違う。音 符の数が違う。

T:音符の数を見たらいいね。他に何か分かるか

C:スラー。

T:記号も手掛かりになりそうだね。

C:伸ばす記号もある。

T: 音符の数や記号から、楽譜で感じた理由を確

かめられそうですね。

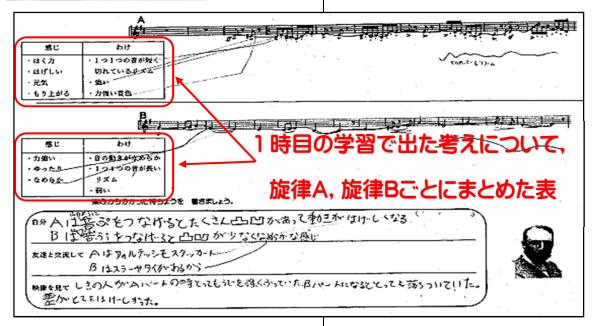
- ・楽譜の旋律を指しながら歌わせることで、 リズムや旋律を確かめられるようにした。
- フォルテッシモなどの記号の意味を確認することで、曲の特徴を見付ける手掛かりにできるようにした。

・楽譜で確かめる。

# 1人で



- ・「楽譜がこうなっているからこんな感じがする」という記述の仕方を伝えることで、考え 方のヒントにできるようにした。
- ・ワークシートの楽譜の中から、曲の特徴が 分かるところを**囲んだり線を引いたりする** ように伝えることで、視覚的に特徴が分か るようにした。



#### グループ交流で



・グループ交流で、納得した友達の考えは、ワークシートに付け加えてよいことを伝えた。

友達と交流して A は フォルテッシモスタッカートーー B はスラーヤタくがわらから

# 全体交流で

Aは、スタッカートがあ るから, 迫力や激しい感じ がすると思います。

Bは、タイやスラーがあ るから、滑らかな感じがす ると思います。

・全体交流で、児童の説明が伝わらないとき は,児童に詳しい説明を求めたり,他の児童 に尋ねたりした。また、歌ったり体を動かし たりして特徴を確かめさせるようにした。

ま لح

5 本時の学習を振り返り、次時の学習を知る。

・次時は、曲全体に広げて、曲が愛されている 理由を考えていくことを伝えた。

#### ウ 3時目

 $\Diamond$ 

#### 〇目標

曲全体の曲想と音楽の構造との関わりから、曲のよさを考える。

#### ※ ---- は, 教師 (T), 児童 (C) のやり取りを示す。 ゴシック体は, 本研究で取り入れる手立てを示す。 〇授業の展開

| 過程 | 学習活動                                     | 教師の働き掛け                        |
|----|--|--------------------------------|
| 導  | 1 「威風堂々 第1番」が愛されていることにつ                  | ・イギリスでは第2の国歌として愛されてい           |
| 入  | いて知る。                                    | ることを伝え,曲のよさを考えるというこ            |
|    |  | とにつなげた。                        |
|    |  |                                |
|    | 11 to 1 to 1 to 2 to 2 to 2 to 2 to 2 to |                                |
|    | めあて:曲のよさを考えよう。                           |                                |
| 展  | 2 指揮をしながら曲全体を聴く。                         | ・強弱の特徴に気付くことができるように、           |
| 開  |  | 指揮をさせた。                        |
|    |  |                                |
|    | 3 曲全体がどのように変化したかについて考え                   |                                |
|    | る。                                       |                                |
|    |  | ・音楽を形づくっている要素に気付くことが           |
|    | /T:指揮の振り方がだんだん大きくなっていました /               | できるように <b>, 強弱に着目する発問</b> をした。 |
|    | ね。全体的に何が変化していますか?                        |                                |
|    | C:強さ                                     |                                |
|    | T:強さがどのように変化していますか?                      |                                |
|    | C:最初は優しい感じの強さだったけど, だんだん                 |                                |
|    | 強くなった。                                   |                                |
|    | T:そうですね。Bを例に考えると、Bは繰り返さ                  | ・Bは同じ旋律を繰り返しているが、だんだ           |
|    | れていたけど、初めのBと後のBでは、強さが                    | ん強くなっていることを確認した。               |
|    | 違っていましたね。では、どうして、強さが違・                   |                                |
|    | うように感じたのでしょう?楽譜で確かめてみ                    |                                |
|    | ようか。                                     |                                |
|    | ようか。                                     |                                |

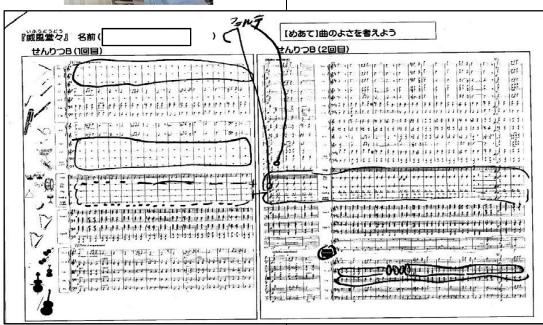
#### 4 楽譜で確かめる。



# 1人で



- ・1回目と2回目のBを並べた総譜(フルスコア)を提示し、配付した。
- ・楽器の分類,名前について楽器のイラスト を示しながら伝え,縦に音の重なり,横に音 の流れが表されていることが分かるように した。
- 演奏と楽譜を照応できるように、楽譜の部分を聴かせた。
- ・2時目の学習を振り返り、本時でも楽譜を 見るときに、記号や音の密度が手掛かりに なるかもしれないことに気付かせるように した。
- ・楽譜で1回目と2回目を比較して、強弱の 違いが分かるところに**印を付けるように伝 える**ことで、視覚的に特徴が分かるように した。



#### 全体交流で

- T:2回目が強く聴こえた理由は楽譜から分かりましたか?
- C:1回目は休みが多いです。2回目はオルガンが 増えています。
- . - T:記号はどうですか?
  - C:2回目はフォルテッシモやアクセントなどの記号があります。
- 、C:2回目は3つ同時に演奏する和音があります。

- ・全体交流で、だんだん強くなったように感じたのは、音を強く出していることや、演奏する楽器の数が増えていることによることを確認した。
- ・和音の部分をキーボードで演奏すること で、和音は音楽に厚みをもたせる働きがあ ることを確認した。

5 作曲者の意図を考える。

T:エルガーは、どうして同じ旋律なのに音の重なり、 や強弱を変えたのでしょう?

! C: なぜかなあ。

T:指揮の振り方もだんだん大きくなっていました ね。振ってみてどうでしたか?

C: だんだん気持ちが盛り上がりました。

T:指揮者や演奏者も盛り上がりますが, 聴いている 人はどうですか? (歌いながら指揮をする)

、C:聴いている人を元気にしていると思います。

6 オーケストラの演奏を鑑賞する。

・だんだん強くした理由を考えさせること で、強弱や音の重なりによって、聴き手の感 情が盛り上がることに気付くようにした。

・オーケストラの演奏の動画から、音楽を形づくっている要素によって、たくさんの人の感情を動かすことを伝えた。

7 曲のよさについて書く。

(児童のワークシートの記述より)

8 題材のまとめをし、学習の振り返りをする。

みんなを楽しませるよさがあります。初めは、リズムが激しい感じがして、後で、おだやかなリズムになります。リズムの変化が楽しいです。

とめ

ま

・1時目のワークシートや,題材全体の学習を振り返ることを通して,曲想と音楽の構造との関わりについて,根拠をもって理解できたことを自覚できるようにした。